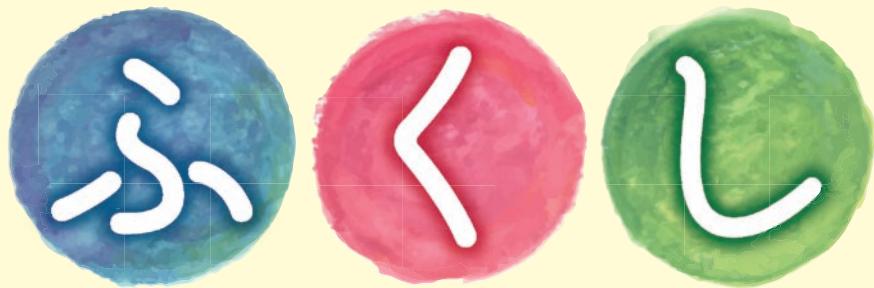


～一人ひとりを真ん中に、縁がつどうあったかなまち～

那珂市の

No.97 平成29年
6月29日発行



那珂市社会福祉協議会



目次

平成29年度那珂市社会福祉協議会事業計画・予算	2	社協インフォメーション	6
平成29年度那珂市社会福祉協議会主要事業の概要	3	善意銀行からのご報告	7
那珂市社会福祉協議会会費ご協力のお願い	4	介護予防のための シルバーリハビリ体操	7
「第3次那珂市地域福祉活動計画」を策定しました	5	ふれあい・いきいきサロン	8
「あん・しん・ねっと」とは	5	2017夏のボランティア体験を実施します	8

平成29年度 那珂市社会福祉協議会 事業計画

基 本 方 針

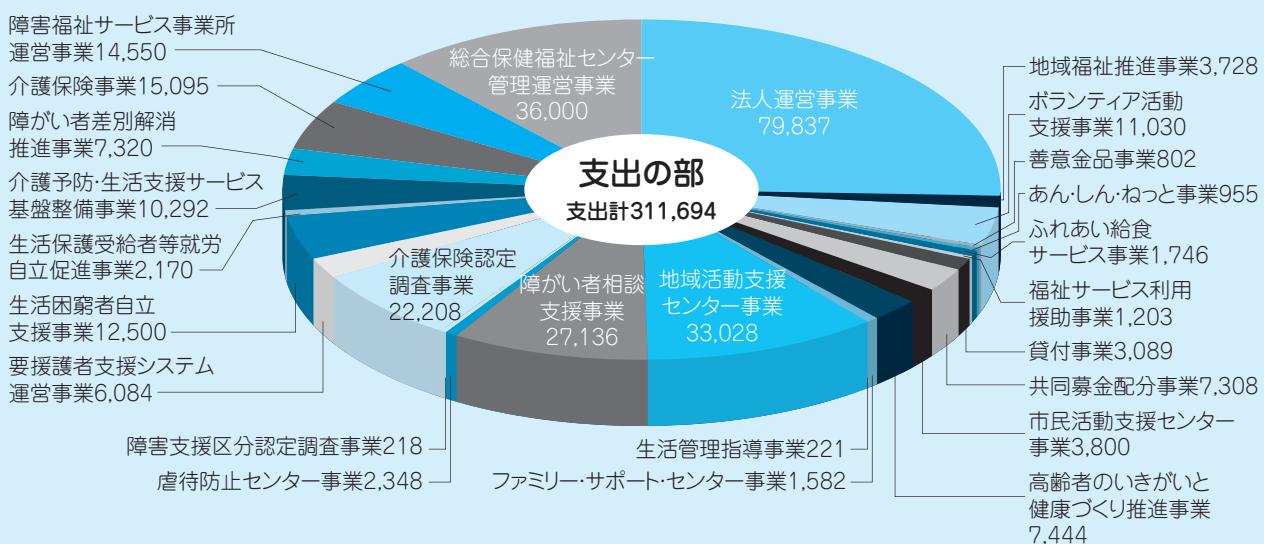
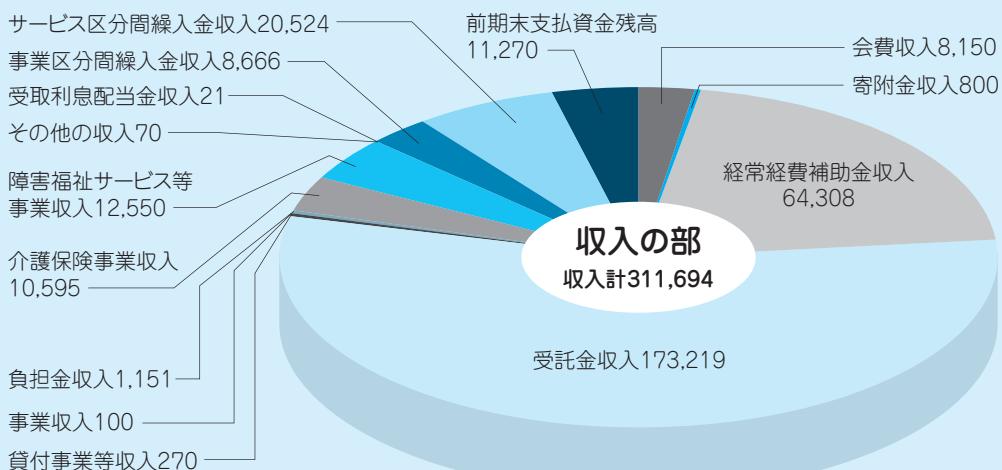
那珂市社協は、第3次地域福祉活動計画基本理念『一人ひとりを真ん中に、「縁」がつどう「あったかな」まち』に基づき、地域において共に助け合い、支え合い、だれもが身近な地域で自分らしい自立した生活が送れるような地域コミュニティづくりとそれを補完するサービスの充実を図ってまいります。

重 点 目 標

- 1 コミュニティソーシャルワーク及び既存の相談機能を整理・活用し、関係機関との連携体制を強化するとともに利用者や関係者の利便性に配慮した総合相談体制の構築に向けた取り組みを進めます。
- 2 身近な地域のみでは取り組みにくいテーマ性の高い居場所づくりの設置・促進を進めるとともにその支援体制の確立を目指します。

平成29年度那珂市社会福祉協議会 予算

単位：千円



平成29年度那珂市社会福祉協議会主要事業の概要

〈第3次那珂市地域福祉活動計画の推進〉

平成29年度から5カ年計画の第3次那珂市地域福祉活動計画を策定しました。総合的な相談体制を強化し、さまざまなひとびとが地域とつながる場づくりを進めています。

〈広報事業〉

社協が、地域福祉を進める上でどのような役割を果たしているのか、また、住民へ伝えたい情報を広報紙やホームページを使い発信していきます。

〈居場所づくり設置・促進事業〉

高齢者や障がい者、児童など同じ状況にあるひとびとが集まる場（居場所）の設置・促進のため、ボランティアの養成や運営支援を行います。

〈地域福祉コミュニティ推進事業〉

ふれあい・いきいきサロンや地域のイベントなどの活動支援、地域に暮らすひとびとの相談支援などを通じ、地域住民同士が役割を担いあい、いきがいをもって暮らすことのできる住民主体の地域コミュニティづくりを推進します。

〈介護予防・生活支援サービス基盤整備事業〉

住民主体による多様なサービスの開発や、介護予防にかかる人材の育成支援などを通じ、誰もが自分らしくいきいきと暮らせる地域づくりを行います。

〈ボランティア活動支援事業〉

ボランティア体験などを通じ、住民のボランティア・市民活動に関する理解を深めます。

また、ボランティア養成講座などを通じた人材育成や活動支援を行います。

〈あん・しん・ねっと事業〉

高齢、障がい、病気などにより支援を必要とするかたに対して、住民主体による見守りネットワークを構築し、地域での生活を安心して続けることができるよう支援します。



〈基幹相談支援センター運営事業〉

障害者計画相談支援、障害児相談支援を行う指定相談支援事業所との連絡・調整を行いながら、よりよい相談支援体制に向けての環境の整備などを行います。

〈障がい者相談支援事業〉

障がい者や保護者及び介護者からの相談に応じ、市及び福祉サービス事業者との連絡・調整を行い必要な情報の提供や助言をします。

〈介護保険認定調査事業〉

認定調査員である介護支援専門員が、介護保険認定申請者宅などを訪問し、本人及び家族から全国一律の基準に基づき公正かつ的確に聞き取り調査を行います。

〈居宅介護支援事業〉

中立公正な立場でケアプランを作成し、安心して相談できるようなサービス体系づくりに努めます。

〈障がい者差別解消推進事業〉

障がい者及びその家族などからの障がいを理由とした差別に関する相談に応じるとともに、障がいを理由とした差別の解消に必要な体制の整備を図り、その解消を推進します。

〈生活困窮者自立相談支援事業〉

生活に困窮するおそれのあるかたが早期に困窮状態から脱却することを図るために、本人の状態に合わせた相談支援を行い、社会的経済的自立を支援します。

〈生活保護受給者等就労自立促進事業〉

※新規事業

就労を希望する生活困窮者及び生活保護受給者などに対して、ハローワークなどの関係機関と連携し継続的支援を行い、対象者の就労による早期自立を促進します。

那珂市社会福祉協議会会費ご協力のお願い

～だれもが安心して暮らせる地域づくりを目指して～

那珂市社協では、だれもが安心して暮らせる地域福祉活動を推進するため、社協事業にご賛同いただけるかたを那珂市社会福祉協議会会員として毎年募集しています。

社協会費は、毎年5月から6月を重点に、各地区まちづくり委員会、自治会のご協力のもと募集を行っています。那珂市社協の活動をご理解いただき、ひとりでも多くのみなさまに会員として、ご協力ををお願いいたします。



会費の種別は1口 ※会費は年額になります。

一般会費500円、特別会費1,000円以上、法人会費10,000円以上 があります。

社協会費は地域福祉活動に使われています

活動の一部を紹介します

地域福祉活動推進のために

ふれあい・いきいきサロン活動の設置促進、
身近な暮らしの出前講座、防災・防犯マップづくりなどの事業に使われています。



ふれあい・いきいきサロン活動



ボランティア活動支援のために

ボランティアの育成・支援、活動のきっかけづくり、地域や学校などにおける福祉教育の推進に使われています。



小学校での福祉体験

地域福祉の 広報・啓発のために

より多くのかたに、地域福祉に关心を持っていただき、活動に参加していただけるよう啓発活動に使われています。



あん・しん・ねっと事業 のために

地域や関係機関が協力して支援を必要とするかたを見守り、いつまでも安心して暮らせる地域づくり推進のため使われています。



ふれあい給食サービス のために

ひとり暮らしの高齢者などのお宅に手作りのお弁当をお届けするふれあい給食サービス事業に使われています。



那珂市社協会費のチラシは、ホームページからご覧になれます。 <http://www.naka-shakyo.net>

えにし ～一人ひとりを真ん中に、縁がつどうあったかなまち～ 「第3次那珂市地域福祉活動計画」を策定しました

那珂市社協では、平成29年度からの5カ年計画として、多くの住民や関係機関からご協力やご意見をいただき、第3次那珂市地域福祉活動計画を策定しました。

策定を進めるなかで見えてきたのは、下記の現状です。

1つ目は、子育て中のひとり親などが抱える「家庭内の問題が深刻化しても、周囲に言えず、社会から孤立してしまうこと」

2つ目は、障がい当事者が生活はできても、望む社会参加ができるていない「自分らしい生活を実現できないこと」

3つ目は、制度・サービスが整い生きづらさは解消されつつあるものの、窓口が増えどこに相談してよいかわからない、自らの進むべき道を決めることが難しいなどの「制度の狭間で悩むかたがいるということ」です。

上記の3つに共通するのは「安心して想いや悩みを打ち明けられる場（居場所）」と「共に考えてくれる人の存在」です。それらを充実させていくために、住民一人ひとりがお互いのつながりを活かしつつ、当事者や団体、関係機関などが考えを出し合い、共に地域づくりへ取り組んでいくことが求められています。

第3次那珂市地域福祉活動計画では、これらの取り組みを効果的に進めるために、『①多様な交流のきっかけづくりと場づくり』『②お互いの理解を深める』『③情報を共有し共に考える』『④連携を強化し共に解決するしくみづくり』を進めてまいります。



地域福祉活動計画とは

誰もが安心していきいき暮らせる地域づくりを、住民や事業者、関係者などが、同じ視点で活動に取り組むための計画です。

「あん・しん・ねっと」とは

「みまもり活動」で安心できる暮らしへ

あん・しん・ねっと事業は一人暮らしの高齢者などが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、ゆるやかにみまもりあう事業です。

「みまもり活動」を行い「気づき（みつける）」から関係機関などに「つなげる」ことで、早期の発見・対応が可能になります。ちょっとした変化に「気づく」ことができる「いつもの人・まち」を知っている地域のみなさまです。地域の誰もが少しだけみまもりに参加することが、多くの人を支え、地域の安全を守ることにつながります。

①ご近所のかたの異変などに



②事務局に



③関係機関などに



早期の発見・対応が可能になります

～この事業は、災害発生時に安否確認を行う市の「避難行動要支援者支援制度」と連携しています～

問い合わせ 地域福祉グループ 229-0309

障がい者の暮らしの相談 障がい者の日常生活の相談 に応じます(要予約)

家族関係・人間関係の悩み、生活の工夫、困りごとに、相談員（障がい当事者及び当事者の親）が、相談に応じます。

- 問い合わせ／障がい・介護支援グループ
229-0309 FAX296-1002

那珂市障がい者 差別解消相談室

障がい者に対する差別に関する相談をお受けします。

- 場 所／市総合保健福祉センターひだまり 菅谷分室
- 受付時間／午前8時30分から午後5時15分
- 問い合わせ／社会福祉協議会 菅谷分室
298-8881 FAX298-8890

生活困窮者 自立相談サポートセンター

自立相談サポートセンターは、支援員が生活困窮者の相談内容に応じて、就労支援などの必要な支援を行います。

- 場 所／市総合保健福祉センターひだまり 菅谷分室
- 受付時間／午前8時30分から午後5時15分
- 問い合わせ／社会福祉協議会 菅谷分室
298-8881

社 協 information インフォメーション

那珂市心配ごと相談

生活上の心配ごと、困りごとについて相談に応じます。電話相談も受け付けます。(予約不要)

- 場 所／市総合保健福祉センターひだまり 菅谷分室
- 受付時間／午前8時30分から午後5時15分
- 問い合わせ／社会福祉協議会 菅谷分室
298-8881

大切なおもちゃを直します。 那珂市おもちゃ病院

那珂市おもちゃ病院では、ボランティア活動としてお子様のおもちゃを無料で修理しています。原則毎月第2・第4木曜日に「ひだまり」の2階にて活動中です。修理の受付は活動日のみになります。

※ゲーム機やアンティークなど修理をお受けできないものもあります。



- 活動予定日／7月13日・27日
8月10日・24日
9月14日・28日
- 活動時間／午後1時30分から午後4時00分
- 問い合わせ／地域福祉グループ
229-0309

出前講座をご活用ください

「身近な暮らしの出前講座」は、健康・楽しみ・学びに関する58のメニューを市民の皆さまのご要望に応じて提供しています。パンフレット及び申込書は、那珂市社協ホームページからダウンロードできますので、ぜひご活用ください。

<http://www.naka-shakyo.net>

問い合わせ／地域福祉グループ 229-0309

「那珂市のふくし」への 有料広告掲載事業所を募集します

【広告の規格】

- ①半枠 縦4.5cm×横8.8cm ①半枠 10,000円(1回)
- ②全枠 縦4.5cm×横17.6cm ②全枠 20,000円(1回)

※掲載する広告ページは表、裏表紙を除くページになります(2色刷り)
詳しくは社会福祉協議会までお問い合わせください。(229-0309)

善意銀行からのご報告

平成29年2月24日から平成29年6月9日現在

みなさまの善意に感謝します。

現金

預託者(敬称略)	金額(円)
預託者() 指定先、それ以外は那珂市社会協議会	
切手・テレカボランティアポピー	29,892
ぴっぴお話の会 南波久代	4,460
野木利三郎	200,000
匿名	2,000
薬師神毅雄	10,000
那珂市女性の翼連絡協議会	765
匿名	1,000
匿名	3,390
匿名	712
匿名	1,400
那珂混声合唱団	33,385

物品

●書き損じハガキ・切手・テレカ (届け先 切手・テレカボランティアポピー)

退職女性教職員の会那珂支部・後台第三自治会女性部・有賀絵理・菊地美代子・豊喰女性団体(ふじいろの会)・上田珠算教室・高野公子・那珂市立第三中学校・(有)ケアープランセンターいきいき・那珂市立菅谷幼稚園・小池三男・高橋俊子・金子葉子・小森友子・松田正紀・セブンイレブン那珂后台店・愛のグループすずらん会・(有)静峰商運・那珂市商工会

●おしりふき布(届け先 市内施設・ヘルパー訪問先) 野木利三郎・ひまわり会・愛のグループすずらん会

●タオル・雑巾等(届け先 市内施設)

野木利三郎・那珂市立菅谷東小学校・高野公子・常陽ボランティア俱楽部

■善意銀行とは…
みなさまからお預かりしたあたたかいお気持ち(お金や物品)を社会福祉のために活用させていただくための窓口です。



常陽ボランティア俱楽部様

社会福祉協議会にご寄付いただいた場合、税制上の優遇措置が受けられます。

いつでも

どこでも

一人でも

介護予防のための シルバーリハビリ体操

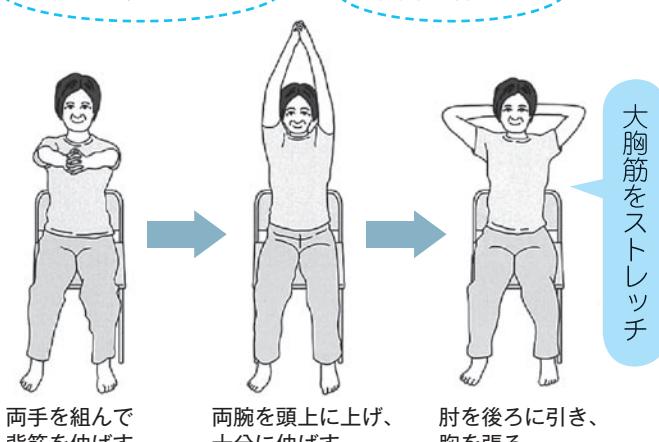
シルバーリハビリ体操は、高齢者の介護予防を推進するために考案されました。

立つ・座る・歩くなどの普段の生活の動きに役立つ体操です。

今回は、肩こり予防の体操(肩と腕の運動)をご紹介します。

シルバーリハビリ体操に、楽しく元気に継続して取り組んでいる「ふれあい・いきいきサロン」や教室もありますので、ぜひご参加ください。

問い合わせ 地域福祉グループ 229-0309



ポイント ゆっくりと気持ちよく行って下さい。

茨城県長寿福祉課発行「介護予防のためのシルバーリハビリ体操」より

「那珂市のふくし」の一部には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。



~あつたかはあとをみんなの手で~

第45回 ふれあい・いきいきサロン 『スマイル』

今回は、「ひだまり」で活動している『スマイル』をご紹介します。ボランティア活動として手話通訳や要約筆記を行っていたメンバーが中心となり、出前講座のシルバーリハビリ体操を始めたことがきっかけで、平成26年の6月にサロンとして誕生しました。

会員の中には聴覚に障がいのあるかたもおられ、筆談や手話などを通してコミュニケーションをとりながら、サロン活動に参加されています。参加者からは「サロンに来るのが楽しみ」「知り合いができて嬉しい」との声が聞かれ、サロンを通して楽しみや仲間づくりができていることを教えていただきました。

- ・名称／いきいきサロン「スマイル」
- ・日時／第2・第4火曜日 10:00～12:00
- ・会場／市総合保健福祉センターひだまり
- ・活動／シルバーリハビリ体操、要約筆記
- ・会員／9人(男性1人、女性8人) 50～80代
- ・会費／なし

代表の根本喜代美さんからの一言

手話に興味があるかたや、聴覚に障がいがあるかたなど、ぜひサロンへ遊びに来てください。一緒にシルバーリハビリ体操をしたり、要約筆記でお話をしませんか。サロンへの入会もお待ちしております。



いきいきサロンに興味・関心のあるかた、「やってみようかな」とお思いのかた、那珂市社協までご連絡ください。

2017夏のボランティア体験を実施します



手話学習サークルでの体験の様子

申込みは7月10日から7月22日の期間に受付けいたします。小学生から社会人、シニア世代、市外のかたも大歓迎です。みなさんもぜひ参加してみませんか。パンフレットおよび申込書は、那珂市社協ホームページからダウンロードできます。

問い合わせ
<http://www.naka-shakyo.net>
2017-0309

那珂市社協では、8月1日から8月31日の期間に市内福祉施設・ボランティア団体などにご協力いただき、ボランティア活動のきっかけを提供する「2017夏のボランティア体験」を実施します。昨年は257人の参加者が、地域に暮らすさまざまにひとひと出会い、活動を共にすることによって多くの気づきや達成感を得てきました。

5月30日に、那珂市立菅谷西小学校の四年生が総合的な学習の時間に点字・車いす体験をしました。

委員長 副委員長 委員
桐原吉野 金子椎名
造彰治郎子 祝巖博
(編集委員長記)

編集後記

子どもたちが障がいの理解を深めるために

5月30日に、那珂市立菅谷西小学校の四年生が総合的な学習の時間に点字・車いす体験をしました。

表紙紹介